

細菌・真菌同定検査のご案内

食品や医薬品の製造工程の管理において、微生物による汚染の原因究明は衛生管理上、非常に重要です。弊社では、生化学的性状による手法だけでなく遺伝子解析も取り入れております。多角的な視点から微生物の同定結果をご報告しております。

微生物による汚染の原因究明にぜひご利用下さい。

検査項目

検体が菌株（分離された菌）の場合



検査項目	検査対象物	検査料金（税別）	納期
細菌・真菌同定	菌株	15,000円	5~16日

◆ 特徴 ◆

①生化学的手法だけでなく遺伝子解析も取り入れています。

（遺伝子解析を実施するか、生化学的性状試験を実施するかにつきましては、検出された菌により、弊社にて選択します。常に遺伝子解析を実施するわけではありません。）

②菌種名のご報告だけでなく、同定菌の資料も添付します。

（弊社のデータベースにない菌種の場合、資料作成にお時間を頂く場合があります。）

- ・1菌株での料金になりますので、培地に複数菌株が存在する場合は検査対象菌株を確認させて頂きます。
- ・病原性が高い微生物の場合は検査をお断りすることがあります。
- ・検査実施し、同定に至らない場合、同定不能とご報告致します。料金は発生致しますのでご了承下さい。
- ・菌種同定に至らない場合は属名等のご報告となります。
- ・通常、報告書には写真やシーケンスデータは付加しておりません。必要な場合は予めお問い合わせください。



検体が製品（食材、水、拭取り検体等）の場合

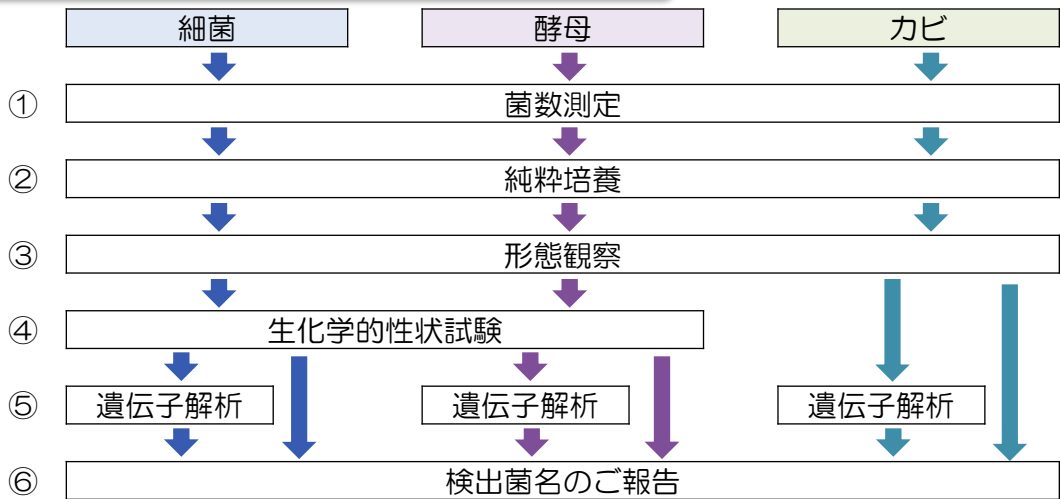
- ・製品（食材、水、拭取り検体等）から直接同定検査を行うことはできませんので、別途、菌数測定のご報告が必要です。料金等詳細はお問い合わせ下さい。
- ・菌が検出されない場合は同定検査には進めませんので、菌数測定の料金のみ発生します。

株式会社ファルコバイオシステムズ ライフサイエンス部
〒606-8393 京都市左京区東竹屋町通川端東入東竹屋町63番地2
TEL 075-771-9377 FAX 075-771-7477
e-mail : fls.info-als@falco.co.jp URL : http://www.falco-life.co.jp/

細菌・真菌同定検査のご案内

検査の流れ（食品、水、拭取り検体などの場合）

※菌株の場合は、②からの検査開始となります。



検査内容

① 菌数測定	食品、水、拭取り検体では、直接同定検査を行うことができませんので、培地上で菌を生育させる必要があります。細菌の同定を実施希望の場合は一般生菌数を、酵母の場合は酵母数を、カビの同定を実施希望の場合はカビ数をあらかじめご依頼下さい。
② 純粋培養	菌数測定では菌が混在して検出される場合がありますので、様々な培地を使って菌を分離します。
③ 形態観察	集落および細胞の形態を、肉眼および実体顕微鏡や光学顕微鏡にて観察します。
④ 生化学的性状試験	菌の炭水化物の利用や酵素の産生の有無等をキット等を使って確認します。
⑤ 遺伝子解析	日本薬局方収載の「遺伝子解析による微生物の迅速同定法」に準拠した検査を実施します。相同性検索には公共のデータベース（NCBIなど）を使用します。 細菌：16S rRNAの一部（約500bp）をシークエンス解析 真菌：18S rRNA と5.8S rRNA間のスペーサー領域（ITS1）をシークエンス解析
⑥ ご報告	検出菌名のご報告および検出菌の資料を添付します。

報告書例

添付資料例

遺伝子解析による微生物同定のご案内

平成24年10月1日より施行された第十六改正日本薬局方第一追補 参考情報で、「無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法」が、「無菌医薬品製造区域の環境モニタリング法」に改められました。

「5.1.5. 同定」の中で、無菌操作区域のグレードA及びBから検出された菌については「種レベルまで同定するのが望ましい。遺伝子を調べる方法は、これまでの生化学や表現型の手法に比べて正確であり、精度も高い」といった記載があります。

弊社では、第十六改正日本薬局方第一追補 参考情報 「遺伝子解析による微生物の迅速同定法」に準じた試験方法で同定検査を受託しておりますので、ぜひご利用下さい。

検査項目

検査項目	検査対象物	検査料金（税別）	納期
遺伝子解析による微生物同定	菌株	17,000円	5～16日

検査内容

日本薬局方収載の「遺伝子解析による微生物の迅速同定法」に準拠した検査法で実施します。相同性検索には公共のデータベース（DDBJやNCBIなど）を使用します。

細菌：16S rRNAの一部（約500bp）をシークエンス解析

真菌：18S rRNA と5.8S rRNA間のスペーサー領域（ITS1）をシークエンス解析

注意事項

- 1菌株での料金になりますので、培地に複数菌株が存在する場合は、検査対象菌株を確認させて頂きます。（極力純粋培養後の培地をご提出下さい。）
- 菌の発育状況により、納期が延びる可能性があります。
- 検査実施し同定に至らない場合、「同定不能」で報告しますが、料金は発生しますのでご了承下さい。
- 菌種同定に至らない場合は、属名等のご報告となります。
- 通常は、片鎖（5'→3'）の解析を行います。片鎖で解析不能の場合、逆鎖（3'→5'）の解析を追加します。（追加費用：7,500円/1検体）
- PCRを行い遺伝子が増幅できない場合も、遺伝子解析前処理料（7,000円/1検体）が発生します。

ご報告内容

試験検査報告書 （A4単票）	検出菌名と遺伝子配列を記載した報告書をご提出します。
参考情報	検出菌の資料を添付します。
遺伝子配列データ （wordファイル）	読み取り可能であった遺伝子配列を電子データでご提出します。 ※ご依頼時に必ずE-mailアドレスをお教え下さい。 （パスワードを付けて送付が必要な場合はご指示下さい。） ※同定不能の場合にはご提出しません。

株式会社ファルコバイオシステムズ ライフサイエンス部
〒606-8393 京都市左京区東竹屋町通川端東入東竹屋町63番地2
TEL 075-771-9377 FAX 075-771-7477
e-mail : fls.info-als@falco.co.jp URL : http://www.falco-life.co.jp/

微生物同定検査 報告オプションサービス

環境検査等でご利用頂いております「細菌・真菌同定」、「遺伝子解析による微生物同定」について、報告内容のオプションサービスを開始します。
現在の報告書の内容よりも、さらに詳細な検査結果のご提供が可能となりましたので、検出された菌のデータ解析など判断材料としてぜひご活用下さい。

細菌真菌同定 生データセット

	報告内容	料金
細菌・真菌同定	<ul style="list-style-type: none">試験検査報告書 (検出菌名を記載した報告書)検出された菌の参考情報	15,000円
生データ追加オプション※1	<ul style="list-style-type: none">生化学的性状試験結果※2 (グラム染色、各種分離培地での発育状況等)	3,000円

遺伝子解析による微生物同定 生データセット

	報告内容	料金
遺伝子解析による微生物同定	<ul style="list-style-type: none">試験検査報告書 (検出菌名を記載した報告書)検出された菌の参考情報遺伝子配列データ (電子ファイル)	17,000円
生データ追加オプション※1	<ul style="list-style-type: none">生化学的性状試験結果※2 (グラム染色、各種分離培地での発育状況等)Blast検索結果情報	5,000円

※1) 生データが必要な場合には、必ず依頼時にお申込み下さい。

※2) 検出された菌により実施する生化学的性状試験の内容が異なるため、検体により報告内容が変わりますので予めご了承下さい。

株式会社ファルコバイオシステムズ ライフサイエンス部
〒606-8393 京都市左京区東竹屋町通川端東入東竹屋町63番地2
TEL 075-771-9377 FAX 075-771-7477
e-mail : fls.info-als@falco.co.jp URL : <http://www.falco-life.co.jp/>